



3 点 P, Q, R はそれぞれ原点 O を中心とする半径 1, 2, 3 の円周上で、正の向きに角速度 1, 2, 3 の等速円運動をしている動点とする。△ PQR の面積の最大値を求めよ。ただし、ある時刻において 2 点 P, Q は線分 OR 上にあるとする。



2 点 P, Q が線分 OR 上にある、すなわち 3 点が一直線上に並んだ状態を $\theta = 0$ とする。

3 点 P, Q, R はそれぞれ原点 O を中心とする半径 1, 2, 3 の円周上で、正の向きに角速度 1, 2, 3 の等速円運動をしている動点であるが、 $P(1, 0)$ として固定すると、相対的には Q, R が半径 2, 3 の円周上でそれぞれ角速度 1, 2 の等速円運動をしていると考えられる。

そこで、 $P(1, 0), Q(2 \cos \theta, 2 \sin \theta), R(3 \cos 2\theta, 3 \sin 2\theta)$ とおく。

△ PQR の面積を $S(\theta)$ とおくと、 $\overline{PQ} = (2 \cos \theta - 1, 2 \sin \theta), \overline{PR} = (3 \cos 2\theta - 1, 3 \sin 2\theta)$ より

$$\begin{aligned} S(\theta) &= \frac{1}{2} |(2 \cos \theta - 1) \cdot 3 \sin 2\theta - 2 \sin \theta \cdot (3 \cos 2\theta - 1)| \\ &= \frac{1}{2} |6 \cos \theta \sin 2\theta - 3 \sin 2\theta - 6 \sin \theta \cos 2\theta + 2 \sin \theta| \\ &= \frac{1}{2} |12 \sin \theta \cos^2 \theta - 6 \sin \theta \cos \theta - 6 \sin \theta (1 - 2 \sin^2 \theta) + 2 \sin \theta| \\ &= \frac{1}{2} |12 \sin \theta \cos^2 \theta - 6 \sin \theta \cos \theta - 6 \sin \theta + 12 \sin^3 \theta + 2 \sin \theta| \\ &= \frac{1}{2} |12 \sin \theta (1 - \sin^2 \theta) - 6 \sin \theta \cos \theta - 4 \sin \theta + 12 \sin^3 \theta| \\ &= \frac{1}{2} |12 \sin \theta - 12 \sin^3 \theta - 6 \sin \theta \cos \theta - 4 \sin \theta + 12 \sin^3 \theta| \\ &= \frac{1}{2} |8 \sin \theta - 6 \sin \theta \cos \theta| \\ &= |4 \sin \theta - 3 \sin \theta \cos \theta| \end{aligned}$$

となる。

ここで、 $f(\theta) = 4 \sin \theta - 3 \sin \theta \cos \theta$ とおくと

$$\begin{aligned} f'(\theta) &= 4 \cos \theta - 3(\cos^2 \theta - \sin^2 \theta) \\ &= 4 \cos \theta - 3(2 \cos^2 \theta - 1) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
&= -6\cos^2\theta + 4\cos\theta + 3 \\
&= -6\left(\cos\theta - \frac{2+\sqrt{22}}{6}\right)\left(\cos\theta - \frac{2-\sqrt{22}}{6}\right)
\end{aligned}$$

となり、 $-1 \leq \cos\theta \leq 1$ であるから $-1 \leq \frac{2-\sqrt{22}}{6} \leq 1$, $\frac{2+\sqrt{22}}{6} \geq 1$ より

$f(\theta)$ の増減は下表に従う。

$\cos\theta$	-1	...	$\frac{2-\sqrt{22}}{6}$...	1
$f'(\theta)$		+	0	-	
$f(\theta)$	-4	↗	極大	↘	0

よって、 $S(\theta) = |f(\theta)|$ の最大値は、4 と「 $\cos\theta = \frac{2-\sqrt{22}}{6}$ のときの $S(\theta)$ 」の小さくない方である。

次に、 $\cos\theta = \frac{2-\sqrt{22}}{6}$ のときの $S(\theta)$ の値を求める。

$$4 - 3\cos\theta > 0 \text{ より}$$

$$S(\theta) = |\sin\theta|(4 - 3\cos\theta)$$

$$= |\pm\sqrt{1-\cos^2\theta}|(4 - 3\cos\theta)$$

$$= \sqrt{1 - \left(\frac{2-\sqrt{22}}{6}\right)^2} \left(4 - 3 \cdot \frac{2-\sqrt{22}}{6}\right)$$

$$= \sqrt{1 - \left(\frac{4 - 4\sqrt{22} + 22}{36}\right)} \left(4 - \frac{2-\sqrt{22}}{2}\right)$$

$$= \sqrt{1 - \left(\frac{13 - 2\sqrt{22}}{18}\right)} \left(\frac{6 + \sqrt{22}}{2}\right)$$

$$= \sqrt{\frac{5 + 2\sqrt{22}}{18}} \left(\frac{6 + \sqrt{22}}{2}\right)$$

$$= \sqrt{\frac{5 + 2\sqrt{22}}{18} \cdot \left(\frac{6 + \sqrt{22}}{2}\right)^2}$$

$$= \sqrt{\frac{5+2\sqrt{22}}{18} \cdot \frac{29+6\sqrt{22}}{2}}$$

$$= \sqrt{\frac{409+88\sqrt{22}}{36}}$$

$$= \frac{\sqrt{409+88\sqrt{22}}}{6}$$

となる。さらに、この値と4との大きさを比較すると、 $4 = \frac{24}{6} = \frac{\sqrt{576}}{6}$ であることと

$(409+88\sqrt{22}) - 576 = 88\sqrt{22} - 167 > 88 \cdot \sqrt{4} - 167 = 9 > 0$ より $\frac{\sqrt{409+88\sqrt{22}}}{6} > 4$ となる。

よって、 $\triangle PQR$ の面積の最大値は $\frac{\sqrt{409+88\sqrt{22}}}{6}$